

第7回高山駅周辺地区まちづくり協議会議事録要旨

日 時 平成22年2月4日 (15:00~16:40)
場 所 高山市役所 行政委員会室 (3階)
出席委員 11名

《副市長挨拶》

《委員の紹介及び会長の選任について》

- ・委員の紹介
- ・会長・副会長の選任について

《会長挨拶》

《議 事》

報告事項

高山駅周辺土地区画整理事業について

「プロジェクターを使用し進捗状況を説明する。」

(別添資料参照)

事務局より説明

協議事項

交流センターについて

「プロジェクターを使用し交流センターについて説明する。」

(別添資料参照)

部会長から、昨日の部会の報告を行う。

(報告要旨参照)

《質疑等》

報告事項について

意見なし

協議事項について

会 長：事務局より説明、部会長より昨日の検討部会の報告があったが何か意見はな
いか。

委 員：今は環境問題が課題となるが、CO₂の関係や省エネの関係、そして温泉利
用するののかについて検討していることがあれば聞きたい。また運営の方法はど
のようになるのか、市民の意見についてはどのように対応していくのか。

事務局：環境問題については、取り組んでいきたいと考えているが、それらについて
は基本設計の中で検討していきたい。温泉の利用についても、管理費等が大き
くなることが予想されるが、どのような熱源が最も適当であるかを含め今後検
討していく。運営については、プールなどは専門的知識がいるため行政ではで

きないと考えている。施設全体で考えれば、どのような施設になるのか、その内容をみながら検討していく。市民の意見については、特に健康増進施設は、各種団体から要望や意見が出されており、これについては所管課の方で対応していく。交流機能についても出来るだけ市民の意見を吸収しながら進めていきたい。高校生の意見など多くの意見を取り上げていきたいと考えている。

委員：報道では「複合交流センター」とあったが、複合とはどういうことか。また、交流というのは誰のための交流とするのか、また必要なのか。ここの整備目的について教えてほしい。

事務局：複合とは、当初交流センターとして位置付けていたが、健康増進施設がここに入るようになったため、複合という名称を付けた。交流については、市民の交流が一番だと考えているが、駅周辺なので観光客も含まれてくる。物を売るような商売ではなく、人が集うことでにぎわいを創出できればと考えている。生涯学習は、文化会館で対応する等それぞれの施設でその機能を発揮できればと考えている。

会長：整備目的をしっかり持てば、有意義な施設が出来ると思う。

委員：整備目的がないとしっかりとしたものできないと思う。

委員：駅周辺の建物に魅力を感じない。建物のデザインをもう少し、潤いがあるものになるように検討した方がよい。今回整備する交流センターは、駅舎自由通路を含め、高山市のランドマーク的になるので文化都市にふさわしい建物にしてもらいたい。

事務局：景観ガイドラインを策定した当時は、岐阜銀行や酒店など1階部分にワンポイント入れてもらうよう求めた経緯がある。ただ、西側については地権者の意識が薄いと感じている。あくまで地権者の意向であるが、今後は指導など出来ればと考えている。

会長：高山は、岐阜県の顔なのでぜひ景観には配慮していただきたい。

委員：交流とは副産物的なものだと思う。例えば、周辺地区などで様々な講座や教室など趣味に関するものが実施されているが、それらが人の目に触れるようなところで行えば、観光客や施設利用者が関心をもって見にきたりすることで、人が集まりにぎわいが出てくる。「交流センター」と肩ぐるしく考えると、行きにくくなる。観光客も有名な観光地ばかり求めているとは限らない。

会長：交通計画については、検討されているのか。

事務局：ここは交通結節点であり、施設利用者により多くなることが予想される。市内全般の交通体系について、公共交通機関も含め別組織の協議会で検討している。

委員：この場所を選んだのは、アクセスが有利な場所であり人が集まりやすい点である。自由通路を含め利便性がよくなる。駅から10分以内のエリアが高齢化率が高くなっており、また支所地域の方も交通機関を使えばこの地が適当

であると考えている。温水プールの適地については、リサイクルセンターも検討したが、利便性のことを考え駅西地区になった。熱源については、様々な方法が想定されるが、最も有利なものになるよう比較するようにしている。

委員：シビックコア計画時に、駅西地域の人から交流施設がほしいということで計画した。また、観光客がついでになにか楽しめるものがよく、休日・夜間という時間帯を想定し、計画した経緯がある。温水プールは、計画時にも課題だった平日の昼間のための対応なのか。

委員：駅周辺では、温水プールについては考えていなかった。経緯としては、市内にあった施設の閉鎖を受け、市民からの要望があり適地調査を行った結果、駅西地区に決定した。温水プールがこの場所となったため、交流センターの建設時期が早まった。施設整備だけではなく、人の動線も含め検討していく必要があると考えている。

委員：当時メディカルセンターなども整備対象に上がっていたので、その流れで温水プールが入ったと思っていた。

会長：ついでにこの施設による人のニーズも含め、市民の意見をぜひ聞いてほしい。金をかけて人を集めるのか、金をかけないで人を集めるのか考え方が二つある。それらを検討するには、ニーズの調査が必要。これは急ぐのか。

事務局：実施設計を年内完了と考えているので、4、5月頃には基本設計を完成させる必要があると考えている。

会長：利用人数についても検討してほしい。

委員：設計の仕様には、部屋数まで指定していくのか。

事務局：本来は、基本計画があり、基本設計・実施設計となるが、今回は基本計画も含めて検討するように発注している。したがって、部屋数など細かい内容までは指定していない。

委員：基本計画が出来た段階で、協議会を再度行うのか。

事務局：ある程度の図面ができないと協議しにくいと考えているので、それらが出来た段階でお願いしたいと考えている。

委員：市民に便利な街が必要である。例えば、傘を使わずに行き来が出来る町といった発想も含め検討してもらいたい。建物の周りには庇を作るなど。

委員：整備コンセプトがないと考えにくく意見が出てこない。交流というのは市民同士という考え方が大半を占めると思う。市民を中心に考え、付随として外国人や観光客といった考え方になる。

委員：資料の整備コンセプトはシビックコア計画時のもの。健康増進施設が入ってどうなったのか、整備コンセプトはどういったものになるのか。

委員：健康増進施設については、要望があるため問題ないとする。交流センターについてはシビックコア計画時と考えは基本的には変わっていないが、現在庁内で検討しており、それらをまとめた段階でアンケートなどを実施したいと考えている。整備については、他施設とのすみ分けが必要であり、

図書館などの公共施設に加え、民間施設とのすみ分けも必要であると考えている。民間大規模用地などの新たな利用方法なども含め検討し、それらを見極めながら進めていきたいと考えている。

委員：ターゲットを絞り、棲み分けをすることが必要である。

委員：駅西周辺の道路が渋滞する。特に文化会館で行事があると大渋滞を起こす。新たな施設が出来るとさらに渋滞することが懸念される。

事務局：西之一色花岡線については、駅周辺側と反対側についても順次整備を進めていく予定である。

委員：文化会館横の道路についても、今後整備する予定であり、文化会館についても出入り口の改善を今後進める予定であるが、順次整備を進めるため時間をいただきたい。

委員：駅西の景観が悪い。当初のイメージと違って緑なども少ない。

事務局：西之一色花岡線の整備については、電線地中化もあり現在は仮のもの。最終的には、緑化も含め整備予定なので理解願いたい。

委員：整備方針の決め方は、整備コンセプトを持つことも一例だが、いろいろな人の意見を聞いてそれを絵にして、絞り込んでいく方法もあると考える。

会長：意見が尽きたようなのでそろそろ終了とする。昨日の検討部会での意見も踏まえながら、整備コンセプトを決め市民のニーズを聞いてほしいということを協議会として願います。

《閉会》